

各館活動報告

提出大学：広島大学

提案理由：教育支援、研究支援、社会貢献、管理運営について、現況、トピック、課題などをお知らせください。

※加盟館内の情報共有を図ることを目的としています。

※各館活動報告は、承合事項 3 として、資料 13 および資料 14 と合わせて各加盟館に回答
依頼

依頼メール：[haul:567] 令和 3 年度広島県大学図書館協議会総会の承合事項について
(依頼)

1. 教育支援

(1) 学習環境の整備

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、中央図書館、西図書館、霞図書館の閲覧机の一部に飛沫防止のためのアクリルパーティションを設置した。
- ・西図書館ラーニング commons の テーブルやいすを更新し、学習空間を整備した。
- ・東図書館ラーニング commons にテーブル、いす、ホワイトボードを追加した。
- ・西図書館と霞図書館に図書除菌機を導入した。
- ・すべての図書館に検温センサーを設置した。

(2) 学習用資料の整備

- ・英語多読用として A Very Short Introduction シリーズの新刊本を購入した。

(3) ライティング支援

- ・大学院生の学生チューターによるオンラインのライティング個別相談（日本語文章および英語文章）を実施した（85 件）。

(4) 情報リテラシー教育

- ・オリエンテーション・利用講習会（46 回/動画コンテンツの配信や、時期によっては人数制限を設けての対面形式で開催）。
- ・新入生必修授業の「大学教育入門」（受講生約 2,500 人）において「図書館の使い方と資料の収集」「アカデミックライティング」の講義を実施した。

(5) その他

- ・5月の休館時に学生への図書宅配貸出サービスを実施した（445 人、739 冊）。
- ・広島大学ライティングセンターが実施するチュートリアルトレーニングプログラムが 2021 年 2 月に The College Reading & Learning Association (CRLA) における International Tutor Training Program Certification (ITTPC)（国際チューター育成プログラム認定）の審査に合格し、広島大学ライティングセンターが国際標準のチュートリアルトレーニングプログラム（レベル 1）の実施機関として認定された。

2. 研究支援

(1) 英語論文執筆支援

- ・研究者の英語論文の執筆を支援するために、ライティングセンター教員とライティングアドバイザーフェローによるオンラインでの個別相談を実施した（437 件）。
- ・英語論文の執筆等に関するワークショップ、セミナー等を実施した（13 回）。
- ・主要な英語ジャーナルのエディター 8 名を集めて、研究論文出版における効果的なアカデミックライティングに関する意見を聞くラウンドテーブルを実施した。

(2) 機関リポジトリからの研究成果発信

- ・新規に論文等の研究成果の登録を行った（1,595件）。

(3) 広島大学出版会での研究成果の出版

- ・広島大学での教育研究成果の公開を目的として、書籍の出版を行った（増刷1点、新規出版2冊）
- ・新しい出版モデルとして、プリントオンデマンド出版契約を締結した。

(4) 電子ジャーナル・データベース

- ・電子ジャーナル・データベースの利用講習会を実施した（1回）。
- ・リモートでの利用に対応するため、ジャパンナレッジの同時接続数を2から4に増やした。

(5) 資料の電子化

- ・国文学研究資料館との共同事業である「日本語の歴史的典籍のデジタル化」において、古典籍53点、11,417コマの電子化を行った。

3. 社会貢献

(1) 連携講演会の開催

- ・令和2年度広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会「名前の歴史」を広島市立中央図書館で開催した。

4. 管理運営

- ・西図書館入口に入退館用のICカードリーダーを設置した。
- ・貴重資料室、和装資料室等の定期点検・清掃を実施した。
- ・角筆文献293点943冊を収容した「小林角筆資料室」を中央図書館に設置した。

5. その他

(1) 学生サポーターHULS

- ・参加者が自分の好きな本を語り合う「ブック・パーティー」を開催した。
- ・オンラインビブリオバトルを実施、HULSのメンバーが参加した。
- ・HULSのメンバー4名が学生協働交流シンポジウムに参加した。

(2) 図書館寄付金

- ・図書館に43人から合計90万円の寄付を受けた。

1. 教育支援

- a) 「英語多読コーナー」の充実および授業との連携（担当教員が同コーナーの図書を使う課題を出し、学生が館外貸出により使用）。
- b) マンガコーナーの充実（約2,600冊）。
- c) 視聴覚資料の充実（主にDVD・Blu-rayソフト：約400点）。
- d) 各学科教員選定の基本図書、各研究科教員選定の大学院用図書の整備。
- e) 新型コロナ対策による、遠隔地在住学生への複写物・図書の郵送サービス。

2. 研究支援

- a) リポジトリ登録の推進。
- b) 電子ジャーナル・データベースの活用促進や学外アクセス（日経テレコン21など）。
- c) 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の活用促進。

3. 社会貢献

- a) 共同リポジトリでの学内成果物のweb公開。
- b) 共同リポジトリでの貴重資料（下垣内文庫）のweb公開。
- c) 公共図書館との相互貸借などの連携。

4. 管理運営

- a) 学生アルバイトの活用（授業期間のみ・平日16:30～20:15、土曜日8:30～17:15）。

1. 教育支援

◆学修環境整備

- ・ゾーニングを推進し、PCコーナー、グループ学修用スペースを拡大。
- ・学科推薦図書、教員推薦図書、コースカタログ掲載参考文献等のコーナーを整備。

◆情報リテラシー教育

- ・新入生オリエンテーション、初年度授業「大学基礎セミナー」の一環として、図書館の利用方法や文献検索に関するガイダンスをオンラインにて実施。

◆その他

- ・「レポート・論文の書き方講座」「レポート作成のためのロジカルシンキング」の2講座をオンラインにて実施。
- ・学生によるWeb選書・オンライン脱出ゲームを実施。

2. 研究支援

- ・教職員からのレファレンス及び相互貸借サービスへの個別対応。
- ・機関リポジトリ登録（広島キャンパス）
『経営情報学部論集 13号』『人間文化学部紀要 第16号』
『大学教育実践センター紀要 第1号』『人間と科学 20巻1号』
- ・看護教員養成講座（26名）への図書館の使い方セミナー実施。（三原キャンパス）

3. 社会貢献

- ・令和2年度は学外者へのサービスを停止していたため該当なし。

4. 管理運営

- ・図書館利用アンケートを実施。
- ・図書館システムリビジョンアップ後の動作確認・アジャストメント
- ・ICタグリーダーライターのメンテナンスに係る調整。

1. 教育支援

- a) ガイダンス
 - ・ガイダンス動画を作成し学内システムにて公開
 - ア 新入生向けガイド
 - イ 授業用
 - 全学部1年生、国際学部生、同2年生、同院生対象の授業用に動画を公開
 - ・登校再開の時期に合わせて新入生向けに館内を巡るシールラリーを実施
 - ・希望する学生へのミニガイダンスを実施
- b) いちだい知のトライアスロン事業の実施
 - ・図書60点の感想を投稿した「マラソンコース（図書）」完走者が1名誕生
- c) いちだい知のトライアスロン事業
 - ・映画祭での出張講座を開催、その他美術展等関連展示実施
- d) ブックハンティング
 - ・大型書店での学生による選書及びオンライン上の学生選書を各1回実施
- e) 新春図書みくじ
 - ・学生アルバイトと協力のうえ、図書を紹介するおみくじを年始に実施
- f) 電子資料の利用促進
 - ・いちだい知のトライアスロン用に電子ブックサービス「LibrariE」を導入
 - ・電子資料活用のための「お家 de 図書館」全7回を案内
- g) 郵送貸出
 - ・コロナウイルス感染拡大に応じた入構制限を受けて前期に実施

2. 研究支援

- a) 学術情報リポジトリ
 - ・コンテンツ数49件増（累積1,702件）

3. 社会貢献

- a) 公共図書館との連携
 - ・広島市立図書館、県立図書館との図書の相互貸借・情報交換実施
- b) キャンパス見学等の受入
 - ・県内・県外の高校のキャンパス見学を受入

4. 管理運営

- a) 広報等
 - ・ツイッターでの展示情報、イベント情報等の配信
 - ・附属図書館報「知恵の樹」発行（年2回）
- b) 除籍本の有償譲渡
 - ・除籍本を教員→学生の順に有償譲渡
- c) 蔵書点検
 - ・システム改修後初となる点検。3階図書97,664点を対象に実施

1. 教育支援

- ・ 学生向けガイダンスのカリキュラム化（都市経営学部1年次で必修）
オンライン授業により、コンテンツの提供
- ・ 個別ガイダンスをアラカルト方式で実施
- ・ 選書ツアーのほか、購読雑誌及び視聴覚資料の選定アンケートを実施し、蔵書の選定に学生が参画
- ・ 企画展示の実施（選書ツアー展示・就職関連本最新版の展示等）
- ・ 学部生の ILL 費用を教育振興会より全額補助
- ・ 自宅学習支援サービス（貸出資料の郵送、防災センターでの引渡し、ILL 文献複写の郵送等）
- ・ 貸出冊数の一時的な増加
- ・ 契約 DB の学外アクセス整備（期間限定）
- ・ Youtube による図書紹介動画の公開
- ・ オンライン選書ツアーの実施
- ・ 電子書籍のトライアル
- ・ ビブリオバトル（オンライン・学内のみ）の実施

2. 研究支援

- ・ 共同リポジトリへの紀要論文の登録及び DOI の付与
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供
- ・ 教員の意向調査をもとに「医中誌 Web」を導入
- ・ 学部講師による「医中誌 Web」の利用講習会の開催

3. 社会貢献

- ・ 一般開放（閲覧，貸出，施設利用）新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時停止
- ・ 近隣団体，高等学校，特別支援学校，大学附属幼稚園，海外からの見学受入
- ・ 福山市連携事業「特別展示 台湾蓬莱米の父 磯永吉（福山市出身）」の実施

4. 管理運営

- ・ 夜間開館（平日 21 時まで）及び、カウンター業務補助の学生アルバイトを雇用
- ・ 夜間開館時に、防災センターの警備員による巡回監視を実施
- ・ カウンター内部に非常通報装置を設置
- ・ 入口付近に防犯カメラを設置
- ・ 閉館 5 分前に BGM を放送
- ・ 書架に蔵書検索用タブレットを設置
- ・ 書架の増設「岩波文庫コーナー」新設

1. 教育支援

- ・2013（H.25）年度から3年計画でシステム化に取り掛かったが、途中で図書館の一部を建て替えるために中断したこともあり、まだ完成には至っていない。入力作業も終盤になりつつあり、利用者にとって使いやすいシステムになるよう取り組み中である。一部は、学内限定でOPAC公開し、2016年度11月から図書と楽譜はシステムでの貸出を行っている。
図書はOPAC、楽譜はOPACとカードボックス併用、視聴覚資料はカードボックスで検索している。
- ・新入生への図書館オリエンテーションを実施した。
- ・学生へのOPAC利用ガイダンスを、要請に応じて随時開催している。
- ・試験週間に延長開館を実施した。
- ・長期休業期間中の特別貸出（期間・冊数）を実施した。

2. 研究支援

- ・図書館が研究紀要の事務局を担っている。
- ・大学院生奨学金制度として、学習支援アシスタント（作業部門）院生を採用している。
- ・図書館内での授業実施申出に応じている。

3. 社会貢献

- ・館長が許可をした高等学校等の授業のために、主に音楽関係資料の館内利用を認めている。
- ・国内外からの見学希望を受け入れている。
- ・休日開催のオープンキャンパスや学内授業公開日に開館し、説明を行った。

4. 管理運営

- ・閲覧室の音楽和書書架部分の照明増強工事を行った。
- ・閲覧機と視聴覚コーナー机にフレキシブルクリップライトを付けた。
- ・閲覧室、カウンター、事務室のパソコンを入れ替えた。
- ・大学の仮想サーバに、図書館システム用の割り当て設定を行った。
- ・図書館システムソフトの更新を行った。
- ・閲覧室視聴覚コーナーのヘッドホンを入れ替えた。
- ・大学がドイツからのワーキングホリデーを1名受け入れたため、些少ではあるが作業を依頼した。

1. 教育支援

- ・講習会の実施（2回 参加者約150人）
- ・展示会の実施（7回）
- ・「医中誌Web」（データベース）をフリーアクセスへ契約変更
- ・データベース等のベンダー作成動画マニュアル広報
- ・LibrariE、Kinoden、メディカルオンラインイーブックスライブラリーのトライアル実施

2. 研究支援

- ・紀要第21巻刊行
- ・リポジトリ登録件数8件、ダウンロード件数69,360件
- ・視聴覚資料購入希望アンケート実施
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、院生対象に文献複写、貸出図書の郵送（有料）

3. 社会貢献

- ・新型コロナウイルス感染症のため、看護職等対象文献検索講習会、中学生の職場体験、オープンキャンパス・大学祭での「オープンライブラリー」は全て中止

4. 管理運営

- ・蔵書点検（研究室 2/1～3/11、図書館 3/15～3/31）
- ・除籍（図書1,092冊）
- ・図書館空調設備工事（8/7～9/24 臨時休館。移転先で規模縮小開館 月-金 8:30-17:00、土曜休館）
- ・共同学習室の天井修理
- ・閲覧机、イスの増設
- ・図書館HP、図書館システムの更新
- ・日本赤十字広島看護大学ブックケアプロジェクト（古本募金）の実施
- ・【新型コロナウイルス感染症対応】
4/3～4/29 開館時間短縮（月-金 9:30-17:00、土曜通常）
4/22～5/29 臨時休館
6/1～7/10 開館時間短縮（月-金 9:30-17:00、土曜休館）
7/13～8/6、9/25～3/13 開館時間短縮（月-金 8:30-19:00、土曜通常）
4/3～ 一般利用者の制限

1. 教育支援

- ・ 自習用 PC 前年度末に更新し、本格運用開始
- ・ コロナ対策
利用案内の動画作成、電子書籍やデータベースの学外利用を可能に、PC デスクにパーテーション設置し全台の利用を可能に、授業「世界と日本 A」三島由紀夫文庫の紹介動画作成、
- ・ 学内ブックハンティングの実施
- ・ ラーニングコモンズをリモート授業受講用スペースに

2. 研究支援

- ・ 電子 J、データベース、電子書籍（主に教育関連）の購入
- ・ 「三島由紀夫文庫」没後 50 年記念発行記念限定図書購入
- ・ 紀要の編集と送付
- ・ 紀要に原著コーナーを設置 内規の策定
- ・ リポジトリ（HARP）コンテンツ登録 75 件
- ・ 個人研究費・学科経費用図書と雑誌、科研図書の発注・受入・登録・貸出
- ・ 著作権（SARTRAS を含む）についての簡単な動画作成し、FD に提供。

3. 社会貢献

学外者の入館を禁止にしたため、実施なし

4. 管理運営

- ・ 図書落下防止テープ 上 2 段に設置
- ・ 第 2 回蔵書点検を受け、図書 1,056 冊を除籍
- ・ 古本募金の実施
- ・ 大学 HP のリニューアルに伴い、図書館 HP も更新
- ・ アルバイト学生の業務の拡大
オリエンテーション時から新人アルバイトの指導、
年度末の退職教員からの大量返却図書の処理
- ・ 事務室用プリンターを、購入からレンタルへ（パフォーマンスチャージ料として支払い）

1. 教育支援

新型コロナウイルス禍中の処置として、

- 1) 1年次ゼミの授業の1コマを利用し、オンライン授業用に作成した動画による教材で図書館ガイダンスを全ゼミに対して実施（利用方法、OPACを使用しての図書の探し方など）
- 2) 遠隔地在住の学生に対する貸出図書の郵送
- 3) 登校禁止期間中における学外からの電子資料の閲覧サービスの拡大
- 4) ブックハンティングの実施（11月：学内1回）

2. 研究支援

学術情報リポジトリ

- ・コンテンツ登録件数：35件
- ・ダウンロード件数：約35万件

3. 社会貢献

- ・新型コロナウイルスの蔓延防止の観点から、祇園中学校職場体験の受入れ中止

4. 管理運営

新型コロナウイルス禍中の処置として、

- 1) 登校禁止期間中は部分開館、登校期間中は時短開館とする
※新型コロナウイルス感染防止策として、飛沫防止シートの設置、座席間隔の確保、入館時の手指消毒及び検温、閉館後の除菌作業、入退館者記録の作成等を施す
- 2) 学外利用者の利用条件等を明確にするため、諸規定を整備

1. 教育支援

- ・ 新生を対象に図書館ガイダンスの動画を配信
- ・ ゼミ生を対象に OPAC、データベース、電子ジャーナルの検索セミナーを実施
- ・ 図書の郵送貸出を実施
- ・ ビブリオバトルをオンラインで開催

2. 研究支援

- ・ リポジトリ登録申請
- ・ 研究紀要の編集・発刊
- ・ 教員の購読調査をもとに和・洋学術雑誌（冊子・電子）データベースを選定

3. 社会貢献

- ・ コロナ禍の影響により、地域住民への一般開放やイベント等が実施できなかった

4. 管理運営

- ・ 運営の効率化及び品質の維持・向上のため、外部委託によるコア業務の運用を開始
- ・ 図書館システムを更新
- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、閲覧室の環境整備、消毒薬の設置、図書・閲覧室の消毒、出入口に IC カード（学生証）リーダーを設置。また、メールや HP にて、開館時間の変更等お知らせを掲載
- ・ 大学広報誌（年2回）にて図書館についての情報を提供
- ・ 図書・雑誌の除籍及びリユースイベントを実施

承合事項 令和2年度の図書館活動について（提案：広島大学）

回答館名： 広島国際大学図書館

1. 教育支援

- ・ 4/16(土)～新型コロナウイルス感染症に伴う学内入構制限のため休館。
- ・ 5/11(月)～学生への貸出希望図書・文献複写物郵送等対応開始。
- ・ 遠隔にて図書館利用説明会を実施。

2. 研究支援

- ・ 電子BOOK オンライン利用説明会実施。
- ・ リモートアクセス利用推進教育実施。

3. 社会貢献

なし。

4. 管理運営

- ・ 図書館報の発刊（年2回）

1. 教育支援

- ・学習に役立つ図書や教養を深めるための図書を教員に推薦してもらい、別置して学生に紹介
- ・レポートや卒業論文の作成に「聞蔵Ⅱビジュアル」の活用を支援
- ・英語多読本や日本語関連図書の電子ブック活用を支援
- ・「図書館懸賞作品コンクール」「図書館優秀利用者表彰」を実施
- ・職員および学生スタッフによる企画展示の実施

2. 研究支援

- ・電子ジャーナル、データベースの提供
- ・研究報告第53巻の発行
- ・共同リポジトリへの紀要論文等の登録

3. 社会貢献

- ・一般開放（閲覧、貸出、施設の利用、複写）
※2020年4月以降、新型コロナウイルス感染予防対策で学外者の入館を中止している。

4. 管理運営

- ・蔵書点検、書庫整理、除籍の実施
- ・学生スタッフの雇用（延長開館の時間のみ）
- ・「図書館だより」「図書館利用案内」の発行
- ・個人機の配置を変更し、学習環境を整備
- ・新型コロナウイルス感染予防対策の実施（机等の清掃、換気、設備の配置換え等）

1. 教育支援

a) 学習環境

コロナウィルス感染症拡大防止のため、本学も入構制限を行った。

b) 学習支援

主に学習支援センターが担当。

- ・学習支援センターが実施するLSCドキュメンタリーアワーに伴う企画展示1回

c) 情報リテラシー教育

①修大基礎講座（図書館活用法）

「修大基礎講座」の授業の中の1コマを図書館がサポートする形で、施設の利用方法や初歩的な検索方法を紹介した。修大基礎講座は、大学の学びに必要な学習スキルを習得すること等をねらいとして設置されている授業科目。前期に1年生全員が学科毎に受講する。

2020年度は大学の方針により、オンデマンド形式で実施

②文献検索ガイダンス

教員からの個別の要望に基づき、学生が適切な情報資源にたどり着けるようガイダンスを実施

2020年度前期はオンライン形式で3回、オンデマンド形式で6回、後期は対面形式で38回実施

d) その他

- ・図書館が年2回刊行している情報誌『BOOKMARK』で紹介された図書の展示を3回実施した。
- ・英語多読マラソン
学習支援センター、英語担当教員との連携による英語多読マラソンを実施した。

2. 研究支援

図書館Webサービス説明会をオンライン形式で教職員及び学生に1回実施、新しくIIIFにて公開した広島修道大学デジタルアーカイブの説明会をオンライン形式で教職員及び学生を対象に1回実施した。

3. 社会貢献

- ・貴重資料を「広島修道大学デジタルアーカイブ」として公開
- ・企画展示 日=チェコ外交関係樹立100周年記念のパネル展示

4. 管理運営

大学の活動指針危機レベルに沿った図書館の利用制限や原則入構禁止に伴うサービス拡大

〈サービス拡大の事例〉

- ・貸出図書の郵送
- ・所蔵資料の複写・郵送

〈利用制限の事例〉

- ・入館の事前予約
- ・発声を伴う施設等、一部施設の利用停止
- ・閲覧席数の削減

1. 教育支援

(a) 学修環境

- ①カラーコピー複合機新規入替
- ②ブックチェックユニット新規入替
- ③図書館サーバ入替・バージョンアップ

(b) 学修支援

- ①ラーニング・アドバイザーによる個別学修支援（Google Meet）の強化及び各種講座（Google Meet・オンデマンド配信）の充実
- ②課題図書の実施（英語多読図書としてネリーズの洋書購入）
- ③就活本コーナーの資料の充実

(c) 利用者サービス（コロナ禍における利用者サービス：①～③）

- ①図書の貸出郵送サービスの実施
- ②閲覧・複写予約サービスの実施
- ③館内限定利用のデータベースの複写・郵送サービスの実施
- ④絵本専用の部屋のディスプレイ

(d) ガイダンス関係

- ①初年次セミナー図書館案内の動画作成・配信
- ②4年生卒論学科ゼミガイダンスの実施

2. 研究支援

来館せずに利用できる学修・研究支援として

- ① データベースのリモートアクセスの実施（聞蔵Ⅱ、ジャパンナレッジ・Academic Search Complete）
- ② EBSCO 電子書籍リモートアクセスの実施（同時アクセス無制限）

3. 社会貢献

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般利用者の図書館利用を中止

4. 管理運営

資料の除籍（狭隘化対策等のため）

1. 教育支援

- ① 実習用長期貸出（長期実習に出る学生を対象に、貸出期間を2週間から4週間に延長）
- ② ガイダンスの実施（新入生・データベース等）
- ③ 講義・ゼミとの連携
 - ・課題関連本の展示等
 - ・学習成果物の展示
- ④ ブックハンティングをオンライン書店で実施（年2回）
- ⑤ イベントの開催
 - ・資料の企画展示を実施
- ⑥ 図書館サークルの活動
 - ・サークル学生による館内展示
 - ・公共図書館との連携（企画展示・認知症ブックカフェ）

2. 研究支援

- ① 講義資料の一部保管
- ② 学術機関リポジトリへのコンテンツ登録
- ③ 学内発行誌にDOIの付与
- ④ 検索データベースポータルサイトの導入

3. 社会貢献

- ① オープンキャンパス 図書館紹介（Web:youtube）
- ② 広島市立中央図書館との連携講座を実施（2回）

4. 管理運営

- ① 廃棄予定の雑誌及び除籍資料の譲渡会を実施
- ② 蔵書点検の実施

1. 教育支援

- a) 学習環境の整備
 - ・ 小学校新学習指導要領に伴う全教科書、教師用指導書の配置（長束キャンパス）
 - ・ 資格や教員採用試験・教育実習向けの図書充当（坂キャンパス）
- b) ガイダンス
 - ・ 対面とオンライン授業の併用の中、図書館やOPAC活用教材PDFで案内
- c) 学内のアクティブ・ラーニング施設の利用促進
 - ・ ラーニングコモンズ利用回数 1,098名（長束キャンパス）、オープンコモンズ利用回数 674名（阿賀キャンパス）
- d) 電子リソースの強化
 - ・ ビジランクラウド（医学・看護・健康映像配信サービス）の提供を継続・充実
 - ・ 朝日新聞記事データベース（聞蔵Ⅱ）も有料プラン（学外から50アクセス）を全キャンパス提供
 - ・ 看護学部の医中誌WEB（看護文献データベース）の学外アクセスを有料で確保
- e) 本に関わる展示の開催
 - ・ 電子書籍のQRコードを館内展示し広報

2. 研究支援

- a) 広島県大学共同リポジトリ（HARP）参加。紀要論文と博士論文の登録（コンテンツ累積：1,214件）
- b) データベースの横断検索（EBSCO hostの契約による）
CINAHL with Full Text, Psych Articles, Medline等の横断一括検索を提供

3. 社会貢献

- a) 地域住民の方々への利用は3月より停止

4. 管理運営

- a) 館内に新型コロナウイルス感染症対策のため、机にパーテーション設置
- b) 国立情報学研究所の新システムCAT2020の開始に伴う切替作業完了
- c) 次年度の図書館システムリプレース準備

承合事項 令和2年度の図書館活動について（提案：広島大学）

回答館名：広島文教大学附属図書館

1. 教育支援

- a) 学修環境の整備 実習貸出、長期休業貸出、卒業論文作成のための長期貸出
- b) 各種講習会 ゼミ対象ガイダンス
- c) 授業「図書館概論（大学図書館回）」（オンライン）
- d) ブックハンティング実施 1回（オンライン選書）
- e) 各種展示 特集コーナー：3回 新着図書展示：随時
- f) ラーニング・モース[®] 設置資料の充実
- g) あらいぐま博士の『読んどる』（電子版）発行 年1回 読書推進

2. 研究支援

- a) 研究用図書の管理 研究室貸出資料の点検
- b) 機関リポジトリ 研究紀要の登録
- c) データベースの契約、オンライン利用説明会実施
- d) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供

3. 社会貢献

令和2年度は、学外者サービスを停止していたため、該当なし。

4. 管理運営

- a) 蔵書点検（全館・研究室貸出資料・教室貸出資料）
- b) 図書館システムリプレイス（2020年8月末）
- c) 入退館システム改修工事（2021年3月）
- d) 感染症拡大予防対策の実施

1. 教育支援

- ・『新入生にすすめる50冊の本』刊行
- ・図書館倶楽部（学生ボランティア）の活動支援
Library News Vol.13、Vol.14 刊行
オンライン読書会主催 全2回
第10回大学図書館学生協働交流シンポジウム（オンライン開催）への参加（2名）
全国大学ビブリオバトル2020 オンライン大会参加（3名）
- ・図書館ガイダンスの実施 雑誌・論文の探し方も含む 実施3回 57名（申込7回 185名）
- ・ガイダンス動画の作成 申し込み4回 142名
（蔵書検索・マイライブラリ、GiNii、ジャパンナレッジ（エコノミスト）、MeL、日経BP）
- ・データベースリモートアクセス開通手続き、リモートアクセス用アカウントの発行支援

2. 研究支援

- ・ディスカバリーサービス トライアル実施（7月～年度末）
- ・データベース利用講習会（オンライン）の開催
Sci Finder-n 2020/09/29 34名参加
ディスカバリーサービス Summon 2020/07/17 9名参加（申込10名）
- ・学術情報リポジトリにより、研究成果を発信
- ・EBSCO 電子書籍試読サービス、KinoDen、LibrariE トライアル実施
- ・ProQuest Ebook Central 試読型選書システム DDA 導入

3. 社会貢献

- ・本学読書推進システムを近隣高校（2校）で実施
私立大学図書館協会オンライン総会にて研究発表報告：本学読書推進システムに関する研究
（2018-2019年度研究助成）

4. 管理運営

- ・図書館倶楽部ミーティングを週1回実施（毎週水曜昼休み）
- ・図書郵送貸出実施 2020/05/15～（本学学生限定）
- ・学術認証フェデレーションに参加

1. 教育支援

- ・ 情報リテラシー教育 利用講習会 6 回
動画コンテンツの配信や人数制限を設けて対面形式で実施
- ・ 臨時休館中（4 月～6 月）のみ郵送貸出サービスを実施
- ・ 学内限定の一部のデータベースを 8 月まで学外からも利用できるように設定

2. 研究支援

- ・ 学術情報リポジトリ
コンテンツ登録件数 61 件

3. 社会貢献

- ・ イベント
哲学カフェ 遠隔で実施（2 月 27 日）
テーマ「ここは今から倫理です。」

4. 管理運営

- ・ 貴重図書の展示
- ・ コロナウィルス感染症対策として非接触型体温計、図書除菌機、アルコール消毒液を設置

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・ 授業参考図書の充実（各学科教員からの推薦図書の購入、授業関連図書の展示）
- ・ 選書キャンペーン（ブックハンティング）を夏季休業期間中に実施（8年目）
- ・ 完成年度に至るまで重点的に関連図書を購入
（造形デザイン学科・ビジネス心理学科・看護学研究科）

b) 利用者サービス

- ・ 図書館情報誌「Patio」（パティオ）発行（年4回）
- ・ 図書館利用ガイダンス動画・資料提供
※新型コロナ感染拡大により対面でのガイダンスが中止となった。
- ・ 2年生以上の学生を対象とした図書館利用・文献検索ガイダンスの実施
- ・ ラーニングコモンズ内での新着図書展示
- ・ 優良利用者表彰の実施（来館回数・貸出冊数の2部門、年2回）
- ・ 展示コンテストを11月に実施（7チーム16名が参加）。
- ・ 新型コロナ感染拡大に伴う入構制限期間中の電子的資料の学外アクセス用臨時ID等の提供。

2. 研究支援

- ・ 安田女子大学紀要の刊行
- ・ 学術リポジトリ公開（本学紀要のうち許諾があるものすべてを公開）
- ・ 研究分野（文系・理系）ごとに予算配当し研究用図書を購入

3. 社会貢献

- ・ オープンキャンパスでの館内自由見学

※新型コロナ感染拡大に伴い、4月20日から現在まで学外者の利用をお断りしている。例年受入れを行っている近隣中学校職場体験も中止となった。

4. 管理運営

a) 施設管理

- ・ 図書館システムのOPACサーバーの更新

b) 資料保存対策

- ・ 貴重資料室の害虫調査〈毎月〉
- ・ 貴重資料室の害虫駆除〈9月〉
- ・ 対象資料の炭酸ガス燻蒸（殺虫・殺菌処理）〈9月〉

1. 教育支援

a) 学習支援・利用案内

- ・利用者講習会（SciFinder講習会（9月））

b) 広報活動

- ・学生選書の会（11月）404冊選定
- ・ブックリユースコーナー常設
- ・企画展示

2. 研究支援

a) 電子ジャーナル・データベース・電子書籍

- ・電子書籍（Maruzen eBook Library）追加505点

b) 工学部研究報告（No.54）、工学部紀要（No.50）発行（電子ジャーナル化）

c) 学術リポジトリ

3. 社会貢献

新型コロナウイルスのためなし

4. 管理運営

a) 図書館システム運用

- ・学園資料取寄サービス運用
（本部、農、医、生物理工、産業理工、九州短大、工）

b) 蔵書点検実施

5. その他

a) 新型コロナウイルス感染症に関する対応

- ・臨時閉館（4月3日～6月9日）
- ・宅配図書貸出サービス（5月11日～3月31日）
- ・「今だから読んでもらいたい本推薦」Amazon図書ギフト券プレゼント
（5月28日～）

1. 教育支援

- ① オリエンテーション(図書館利用説明、貸出・返却の手順や OPAC の操作説明など)の実施(毎年、本科学生入学時及び各種研修開始時)
- ② 学生・研修生に開館時間外(平日夜間及び土日祝日)にも図書館1階の一部を自習あるいは読書の場として開放(平成21年度から継続)
- ③ 学生・研修生が希望する新刊図書(専門書ではなく、読み物に限る)を継続して購入し上記②の時間外開放場所に配架(平成23年度から継続)
- ④ 「海上保安政策プログラム」(大学院修士課程)所属の海外からの留学生に対し、図書館蔵書検索等の支援を実施(平成28年度の同プログラム開始時から継続)

2. 研究支援

- ① 研究紀要「海保大研究報告」の発送事務(同研究報告発行の都度)
- ② 広島県大学共同リポジトリにコンテンツの登録(平成26年度から継続)、各コンテンツに DOI 付与(平成27年8月から継続)
- ③ 研究用図書については、講座教官の希望に基づき図書館で一括して購入発議、登録及び管理を実施(毎年度、随時)

3. 社会貢献

- 図書館1階を広く一般市民に開放、蔵書の閲覧、貸出等の希望に対応
特に、約7,600冊の貴重図書(旧海軍大学校図書等)及び約7,700冊の海洋法ライブラリー図書に関する外部からの問い合わせ、閲覧・複写希望等への対応実施

4. 管理運営

- 特になし。

1. 教育支援

- ・開館時間 授業期間中 9：00～18：30
（コロナにより、4/15～5/31 休校 6月より1部解除）

2. 研究支援

- ・紀要の発行とHPへのアップ
- ・図書委員会開催し問題点検討
- ・研究室配架図書の点検

3. 社会貢献

- ・一般開放の継続実施

4. 管理運営

- ・学生ホール地下に、畳の「憩いの場」設置
- ・蔵書点検実施（除却・受贈=不明図書の発見）
- ・図書館ブラインド取り換え
- ・図書館システムの検討
- ・図書サークルでレジン講習会実施
- ・作業用PC1台導入
- ・看護専門学校図書の受け入れ準備

◆図書館棟改修のため閉館していたが、10月からリニューアル開館

1. 教育支援

- ・ブックハンティング実施（年1回）（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。）
- ・教科書、学生希望図書、教職員からの推薦図書の購入
- ・読書感想文コンクールの開催（年1回）
- ・試験期間中（試験発表から試験終了前日まで）の開館時間の延長（月～土）及び日祝日開館
- ・図書館を利用した授業への協力
- ・本校学生を対象とした、長期貸出（夏季休業期間中の貸出）を実施（閉館中は返却のみ受付）

2. 研究支援

- ・退職教員等の返却図書・雑誌の整理
- ・『研究報告』誌の編集・発行、リポジトリ掲載（年1回）

3. 社会貢献

- ・一般利用者への公開、利用証の発行（貸出）
（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年12月から一般利用は休止している。）

4. 管理運営

- ・「図書だより」の発行（年1回）
- ・図書、雑誌の廃棄決定（廃棄作業）
- ・新型コロナウイルス感染症対応
（カウンターの間仕切り、手指の消毒薬設置、机・ドアノブ等の消毒（定期的な清拭）、閲覧机・椅子の利用半減、除菌ボックス設置等）

承合事項 令和2年度の図書館活動について（提案：広島大学）

回答館名：広島商船高等専門学校図書館

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・国立女性教育会館貸出による(男女共同参画)図書コーナーの設置
(令和2年4月～令和3年3月)
- ・奨学後援会寄附金による学生用推薦図書の購入

2. 研究支援

a) 研究紀要第43号の作成・編集

b) 研究用図書の管理

- ・退職教員の返却図書を整理
- ・寄贈資料の受入
- ・不要図書の廃棄

3. 社会貢献

a) 図書館だよりの作成および図書館ホームページへの掲載

b) 船に関する計器等の館内への展示(寄贈)

4. 管理運営

a) 書庫の整理

- ・複本図書の廃棄

b) 学生雇用(平日夜間・休日)